

## 阪南市市民協働・共創事業評価シート

記入日 令和 8年 1月 29日

阪南市市民協働・共創事業提案制度を活用して協働で実施した事業について、成果と課題を広く共有するために、提起した視点で事業の評価を行ってください。

団体名	子どもNPOはらっぱ (担当者名：根無 昭美 )
担当課名	学校教育課 (担当者名：両口 通寛 )
事業名	子どもの声を聴き共有するラウンドテーブル
事業開始からの実施期間	年(西暦) 年) 月 日～ 年( ) 年) 月 日
提案の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民自由提案部門 <input type="checkbox"/> 市設定テーマ部門
協働の形態	<input type="checkbox"/> 事業委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会 <input type="checkbox"/> その他( )
事業の年度	<input type="checkbox"/> 初年度 <input type="checkbox"/> 継続2年目 <input type="checkbox"/> 継続3年目 <input checked="" type="checkbox"/> 継続4年以上( )年目

### 1. 事業の概要

#### (1) 事業の目的(事業を企画した課題、現状、背景についても記入してください)

<p>子どもたちが安心、安全に暮らせる、笑顔あふれるまちづくりを実現するために子どもたちの心に寄り添い、声を聴き、提案団体と行政の情報共有の関係づくりをすることで、子どもの現状や子どもの周りで起きている問題・社会課題の解決を図っていく。また、地域に子どもの声を聴くおとなが増えるよう、学ぶ機会を協働で実施できる可能性を考えていく。</p>
---

#### (2) 役割分担(団体、事業担当課それぞれの役割を記入してください)

団体	様々な事業(未就学児の子どもの居場所、小中学生の子どもの居場所など)で関わる子どもたちや保護者の声や様子から得る子どもの現状や子どものまわりで起きている問題等の情報を担当課と共有して解決改善を図り、協力して子どもの育ちを支える。
事業担当課	子どもに関わる主な担当課である学校教育課、生涯学習推進室、こども支援課、こども政策課から市の子どもの現状や担当課や所管する施設等の取組みを紹介する。団体と連携できる事業などについて検討し、市の子どもの健全な育成につなげる。

#### (3) 事業費

団体	0 円 費目を記入
市	0 円 費目を記入((例)補助金 円、委託費 円 等)
合計	円

初年度の事業費計	円	団体分担	円	市分担	円
----------	---	------	---	-----	---

前年度の事業費計	0	円	団体分担	0	円	市分担	0	円
----------	---	---	------	---	---	-----	---	---

#### (4) 事業の内容

※名称・日時・場所・参加人数・内容・収益など具体的に記入してください。

※活動の写真や資料があれば、添付してください。

①名称	子どもの声を聴き共有するラウンドテーブル
②開催日時	令和7年7月30日(水) 10:00~11:00 ※令和8年1月に第2回を実施予定。
③開催場所	阪南市役所別棟2階 第3会議室
④対象者	子どもNPO はらっば、学校教育課、生涯学習推進室、こども支援課、こども政策課。
⑤参加人数	11人
⑥事業の内容	NPO と各課(室) の取組などの共有
⑦収益	なし
⑧その他	

#### (5) 事業に参加したのは想定した人たちでしたか。参加した人たちの反応はどのようなものでしたか。

※その人たちや組織に何らかの変容があれば、それも交えて記入してください。

想定した方の参加があった。それぞれが関わっている子ども達の様子を知ることができた。
---

#### (6) 協働で事業を進めるにあたり、工夫した点があれば、記入してください。

それぞれの取組について共有し、協働できることについて考えている。
----------------------------------

## 2. 協働事業の評価

- 下記の評価項目について、それぞれの立場から評価してください。評価基準は5段階としてください。
  - 大変よくできた(5点) • よくできた(4点) • できた(3点) • あまりできなかった(2点)
  - できなかった(1点) • 評価項目として適当でない(N)
- ※「N」を選択した場合は、下記記述欄にその理由を記入してください。

(1) 評価

	評価項目		評価点		
			行政	団体	平均
事業実施前	1	実施する事業の課題・背景や目的を両者で確認・共有しましたか。	4	3	3.5
	2	事業の到達目標を協議して設定しましたか。	2	2	2
	3	事業の実施に際して、計画書や工程表の作成等、計画的な実施のため協議・工夫しましたか。	2	2	2
	4	事業を進めるための役割分担や責任を協議して決めましたか。	2	2	2
事業実施中	5	進捗管理、必要な情報共有をしましたか。	4	4	4
	6	状況の変化に応じて、協議しながら、柔軟な対応ができましたか。	3	3	3
	7	お互いの得意分野や人材・情報を活かし、協力しながら、事業を進めることができましたか。	3	4	3.5
事業実施後	8	設定した目標は達成できましたか。	4	2	3
	9	協働で事業に取り組んだことで、単独で実施するより、成果を上げることができましたか。	3	4	3.5
	10	責任の所在や役割分担は適切でしたか。	3	4	3.5
	11	事業には、当事者、関係者をはじめ、多様な人たちの参加を促すことができましたか。	2	3	2.5
	12	予算は妥当でしたか。	3	2	2.5
	13	課題の解決策や今後の方針について、協議を行いましたか。	3	3	3
	14	協働事業に取り組むことによって、組織に何らかの変化をもたらしましたか。	3	4	3.5

「N（評価項目として適当でない）」を選択した場合は、その理由を記入してください。

番号	理由

(2) 協働して良かったこと、団体や行政の単独ではなく協働で実施したことによりどのようなメリットがあったかなどを記入してください。

団体にとって	4課同時に話せる機会であり、相互に情報共有などができ、協働事業の目的に向かってお互いの意思を確認しながら進むことができた。
--------	---

行政 にとって	子ども達の居場所づくり、「子どもの権利」の普及にどのような取組を実施しているのか 知ることができた。活動に参加している保護者や子どもの様子、ニーズを知ることができた。
市民 にとって	

(3) 協働して課題だと感じたこと、翌年度も事業実施する場合はその改善のために具体的にどのように取  
り組むかを記入してください。

団体 にとって	当初の目的であった「子どもの声を聴くおとな養成講座」開催へ協働に向けての情報交換 の場であったことを確認しつつ、これからの方向性を一緒に考える場にしたい。
行政 にとって	それぞれ立場や所管する施設等の取組、子ども達の様子等を交流して共有できたが、市の 子ども達が持つ課題に対してどのように関わっていくのかや取組を進めるのかということ までは話せていない。
市民 にとって	

(4) 今後の具体的な展開 ※団体と事業担当課が話し合い、記載してください。

今後も協働事業として実施する (  提案事業継続  提案事業以外 )

終了する

市が単独で実施する

団体が単独で実施する

その他 ( )

上記の回答とした理由を記載してください。

(『協働事業として実施』を選択された場合は、提案事業(以外)とする理由も含めて記載してください。)

4 課と民間NPOが同時に話せる機会であり、相互に情報共有などができる。

阪南市「こども条例」施行もあり、今後も官民の情報共有できる場合は、必要であると捉えるため。

(5) 実施事業を今後、どのように活かし発展させるのか。また、団体の自主財源確保の方法などを含めた  
具体的な事業展開の内容などを記入してください。

これまで同様の情報交換をしつつ、「子どもの権利」の啓発・普及のために、団体の強みを活かした協働  
事業を展開していきたい。

(6) その他

--